



陶祖800年祭記念・せとものフェスタ2014・瀬戸市美術館特別展
第1回瀬戸・藤四郎トリエンナーレ グランプリ受賞者展

田中良和展

2014年4月19日[土] → 6月1日[日]

開館時間 9:00-17:00 (入館は16:30まで)・初日は10:00開館
休館日 5月19日[日]
入場料 大人 500円(400円)、高大生 300円(240円)
※特別開催「古瀬戸の全貌―瀬戸焼の黎明と発展―」展もご覧いただけます
※中学生以下、障害者手帳をお持ちの方、定年、65歳以上の方は無料
※お一人様1回限り、1回のみ入場可
主催 せともの祭協賛会、せとものフェスタ2014実行委員会、陶祖800年祭実行委員会、
公益財団法人瀬戸市文化振興財団、瀬戸市美術館
助成 公益財団法人せともの祭協賛会、瀬戸市美術館

瀬戸市美術館
Seto City Art Museum

「瀬戸・藤四郎トリエンナーレ」は、陶都・瀬戸に多くの陶芸家が集い、瀬戸の優れた粘土を改めて知っていただき、新たな陶芸文化の創造と伝統技術の継承を目的として2013年春に第1回が開催され、117名の出品者の中から5名の入賞者、70名の入選者が選ばれました。

「自ら瀬戸の原土を採集し」、「自ら採集した土で粘土をつくり」、「自らその粘土で制作する」という応募規定のもと、第1回においてグランプリ(藤四郎賞)を受賞した田中良和氏の受賞作《より土の可能性》は、審査員から「土そのものの主張を前提にしながらも、そこに作者の思考や手を介入させている」、「原土への好奇心と、かたちを創り出そうとする作者の意識が見事に結実」、「この企画に相応しく、土(原土)との出会いから生まれた作品」という高い評価を受けました。本展では、グランプリ作品で使われた瀬戸の「より土」による新作を中心に約10点を展示します。今後の現代陶芸を代表する作家の一人として更なる飛躍が期待される田中氏の作品をどうぞご堪能ください。



第1回瀬戸・藤四郎トリエンナーレ 採土風景

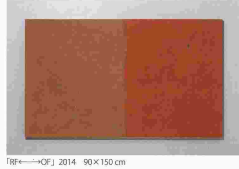
□同時開催
陶祖800年祭記念・せとものフェスタ2014
瀬戸市美術館特別展
「古瀬戸の全貌―瀬戸焼の黎明と発展―」
4月19日(土)～6月1日(日)

□次回展覧会
陶祖800年祭記念・瀬戸市美術館特別展
「美術工芸の明日を担う20人展―今瀬戸にKOUGEI力が結集!―」
6月7日(土)～7月27日(日)

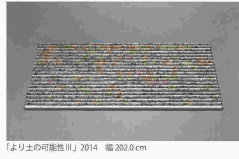
□近隣施設のご案内
●瀬戸ミュージアム 企画展「陶祖匠―陶祖伝記とその時代―」
4月19日(土)～6月1日(日) TEL 0561-97-1190
●瀬戸市新世紀工芸館 企画展「瀬戸染付の今」
4月2日(水)～6月22日(日) TEL 0561-84-1093
●瀬戸染付工芸館 (平成26年4月1日から館名変更)
企画展「瀬戸染付名品展」
4月2日(水)～6月30日(月) TEL 0561-89-6001
●認知症陶芸美術館
特別企画展「龍山、江戸の藤やぎ 古瀬戸・古武雄」
4月12日(土)～6月15日(日)
テーマ展示「陶祖記念 世界をみる眼 古瀬戸とガラス」
4月26日(土)～6月15日(日) TEL 0561-84-7474



「東土から成るもの」2013 高さ40.0cm



「原土」2014 90×150cm



「より土の可能性III」2014 幅202.0cm



「ハイイロ」2014 750×120.0cm



「より土の可能性」2013 高さ63.0cm 瀬戸市美術館蔵

田中良和展

陶祖800年祭記念・せとものフェスタ2014・瀬戸市美術館特別展
第1回瀬戸・藤四郎トリエンナーレ グランプリ受賞者展

田中良和(たなか、よしかず) 略歴 1983年、大阪府に生まれる。愛知県立芸術大学美術学部デザイン工芸学科陶磁専攻で加藤作助氏、太田公典氏に師事。2006年に卒業。2004年から2007年にかけて船橋美術館で加藤作助氏、太田公典氏に師事。2008年には船橋美術館に出展。2006年、第1回東海五県工芸展に入賞。2007年、第3回東海五県工芸展に入賞。2010年、瀬戸の新進作家展「ソレイユ」(名古屋カシマ)に出展。同年、瀬戸・藤四郎トリエンナーレにおいてグランプリ(藤四郎賞)を受賞。現在瀬戸市新世紀工芸館に勤務。

瀬戸市美術館
〒489-0884 愛知県瀬戸市西沢町113-3
TEL 0561-84-1093 / FAX 0561-85-0415
EMAIL: seto@city.seto.lg.jp

